

800MHz帯におけるIMT-2000周波数の割当方針案についての意見募集

1 経緯等

総務省では、「第3世代移動通信システム (IMT-2000) の高度化方策」に関する情報通信審議会答申 (平成16年5月) 等を踏まえ、815～850／860～895MHzの周波数を新たにIMT-2000に割り当てるとともに、800MHz帯における従来の周波数配置による携帯電話の周波数及び空港無線電話の周波数について使用期限を定めることとする800MHz帯周波数の再編成に必要な規定を整備するため、無線設備規則の一部改正案及び周波数割当計画の一部変更案を電波監理審議会に諮問しました。

今般、この省令案等において新たに割り当てることとしている815～850／860～895MHzの周波数の割当方針として「800MHz帯におけるIMT-2000周波数の割当方針案」を作成しましたので公表します。つきましては、この方針案について、国民の皆様から広く意見の募集を行います。

2 意見募集の対象

意見募集の対象は、「800MHz帯におけるIMT-2000周波数の割当方針案」(http://www.soumu.go.jp/s-news/2004/pdf/040806_2_b1.pdf) についてです。この方針案について御意見のある方は、当該御意見を下記3の提出要領に従って総務省に提出することができます。

3 意見の提出要領及びその取扱い

(1) 意見募集期間

平成16年8月6日 (金) から平成16年9月6日 (月) 17時まで。

※ 郵送の場合は同日必着

(2) 資料の入手方法

総務省ホームページ (<http://www.soumu.go.jp>) での閲覧及び連絡先窓口での配布

(3) 意見の提出方法

意見提出様式 (http://www.soumu.go.jp/s-news/2004/040806_2.html#b2) に従って日本語により記載し、意見提出先まで、郵便、ファクシミリ又は電子メールにて御提出ください。

なお、電子メールにて御提出される方は、テキストベースで送信願います。

(4) 意見募集後の措置

お寄せ頂いた御意見については、それに対する総務省の考え方を取りまとめて公表致します。また、提出された御意見については、次の事項を公表することがありますので、あらかじめ御了承ください。

ア 意見提出者に関する氏名又は名称及び住所（個人にあつては市区町村単位までの住所、法人又は団体にあつては本店又は主たる事業所の所在地に限ります。）その他属性に関する情報

イ 御意見の内容（ただし、個人に関する情報であつて特定の個人を識別し得る記述及び権利利益を害する恐れがあるもの等、公表することが不相当とされる記述がある場合には、当該箇所を公表しない場合があります。）

4 意見の提出及び問い合わせ先

連絡先： 総合通信基盤局電波部移動通信課

担当： 松井課長補佐、田邊第二技術係長

住所： 〒100-8926

東京都千代田区霞が関2-1-2 中央合同庁舎第2号館10階

電話： (直通)03-5253-5896

(代表)03-5253-5111 内線 5896

FAX： 03-5253-5946

E-mail： imt2000@soumu.go.jp

5 今後の予定

本方針案については、皆様から寄せられた御意見を踏まえ速やかに策定する予定です。

なお、詳細は<http://www.soumu.go.jp/s-news/2004/040806_2.html>を参照ください。

地上デジタル放送開始に向けたアナログ周波数変更対策の 8月における受信対策地域

平成16年8月からアナログ周波数変更対策（受信対策）を着手する予定の地域は下記のとおりです。

受信対策は平成15年2月に開始して以来、平成16年7月までに172地域の対策に着手し、世帯数では、約152万世帯（全体の約36%）の対策を終了するなど、現在、計画に沿って順調に進んでいるところです。

なお、三大広域圏（関東、中京、近畿）における地上デジタル放送のエリア拡大に必要なアナログ周波数変更対策はまもなく終了する予定です。

1 8月中に受信対策を開始する地域（16地域、約4万6千世帯のとおり。）

関東：1県1地域（茨城県）岩瀬町、真壁町、下館市等の各一部
北陸：1県2地域（石川県）珠洲市、内浦町、七尾市の各一部
東海：1県2地域（静岡県）藤枝市、相良町の各一部
近畿：2県7地域（兵庫県）相生市、揖保川町、南淡町、姫路市の各一部
（和歌山県）田辺市、南部川村の各一部
中国：1県2地域（岡山県）総社市、真備町、清音村等の各一部
四国：1県2地域（香川県）詫間町、坂出市、丸亀市等の各一部

2 これまでの受信対策の進捗状況

関東：関東地域において74地域の対策に着手し、約85万1千世帯の対策を終了
信越：信越地域において3地域の対策に着手し、約100世帯の対策を終了
北陸：北陸地域において3地域の対策に着手し、約9千世帯の対策を終了
中京：中京地域において17地域の対策に着手し、約7万4千世帯の対策を終了
近畿：近畿地域において43地域の対策に着手し、約54万4千世帯の対策を終了
中国：中国地域において13地域の対策に着手し、約4千世帯の対策を終了
四国：四国地域において19地域の対策に着手し、約4万世帯の対策を終了
なお、受信対策地域の概要、各地域の受信対策センターの概要については、
(http://www.soumu.go.jp/s-news/2004/040730_6.html#b) を参照ください。

欧州電気通信 の動き

仏携帯電話市場、第2四半期は成長が鈍化

【 Les Echos,2004/07/27 】

ART（仏電気通信規制機関）が発表したところによると、仏携帯電話市場は第2四半期に小幅な成長に留まったが、携帯電話の普及率はずいぶん70%の大台に乗った。携帯電話ユーザー数は第2四半期に30万2600人増加（前期比0.7%増）し、総数4220万人に達した。事業者別では、第2四半期のユーザー増加分の54%を占めたブイグが勝者で、同社のユーザー数は690万人に達した。また、同社の携帯電話市場シェアは前期の16.1%から16.3%に拡大した。SFRは第2四半期増加分の38%を占め、同社のユーザー数は1490万人となった。市場シェアは35.4%で変わらず。最大手のオレンジは、第2四半期増加分の8%を占めるに留まり、またしても期待外れな結果に終わった。同社のユーザー数は2040万人で、市場シェアは48.3%だが、前期と比べて0.3%減少している。上半期のユーザー増加数は55万8400人で、事業者別の内訳はブイグが49%、SFRが39%、オレンジが12%。

また、第2四半期の携帯電話事業者の平均収入は、加入契約の場合ユーザー一人当たり月額34.1ユーロ、プリペイドの場合一人当たり月額47.1ユーロとなっている。第2四半期のSMSの送信本数は合計で24億本に達し、ユーザー一人当たりでは月間19.4本となった。事業者別には、SFRのユーザーが一人当たり月

間21.7本を送信しており利用度が最高（ブイグは19.7本、オレンジは18本）。マルチメディアサービスの利用者数は6月末現在で755万人に上り、オレンジが400万人を占める。

仏首相、地上デジタル放送開始時の映像データ圧縮規格で裁定下す
【 Les Echos,2004/07/22 】

仏は2005年3月に地上デジタル放送を開始する予定だが、映像データ圧縮技術の規格を巡る論争に首相が暫定的な裁定を下した。現行規格であるMPEG2を唯一の標準として採用し、予定通りの放送開始を優先すべきと主張する複数の新規参入事業者がいる一方で、民放のTF1やM6は将来的なハイビジョンの普及を目的に、後継規格であるMPEG4を採用することを提唱し、ドベジャン産業担当相も両規格を併用することを提案していた。この問題については首相に裁定権があり、ラファラン首相は7月20日、CSA（視聴覚最高評議会）に宛てた書簡で、来年3月に開始する無料放送についてはMPEG2を採用するよう指示した。しかし、その半年後に開始する予定の有料放送については一切判断を下しておらず、いずれの規格が採用されるのか、あるいは2つの規格が併用されるのか、全く不明な状況である。この点について、首相はブデ・ド・モンプレジュール氏が準備中の報告書を読んだ上で秋に決定を下す方針と見られる。

また、CSAは7月21日、有料放送・無料放送の双方についてMPEG2を採用すべきとの見解を表明した。CSAは、二つの規格を併用することは「時期尚早、不適切、マイナス影響が大きい」と判断。その理由として、来年3月の時点ではMPEG4対応のセットトップボックスを配布することは不可能であることと、地上デジタル放送開始時に映像データ圧縮規格を変更することは不確実要因を増やし、放送開始を予定よりも遅らせる恐れがあることを上げている。

編集後記

最近、通勤電車の中でも爆睡されているお疲れ気味の人達の姿が目につきま
す。猛暑のせい、はたまた夏休みの家庭サービスのせい、等々いろいろ考
えてみましたが、アテネオリンピックのライブ中継の時間帯が深夜から未明に
かけて集中しているにもかかわらず、人気競技の視聴率はおおむねプライムタ
イム（午後7～11時）のヒット番組を上回る勢いとのことで、何となく納得し
てしまいました。

それにしてもアテネオリンピックでの日本選手の活躍は素晴らしいですね。テ
レビのライブ中継を観戦され、感動されている方も多いのではないでしょ
うか？ ビールもそうですが、オリンピックもやはり「生」（ライブ中継）がい
いですね。

これからいよいよ後半戦。まだまだ注目の競技が目白押しです。日本選手団のますますの活躍を期待し、応援したいものです。そして、オリンピックの感動をエネルギーに変え、この夏を大いにフィーバーしましょう。

オリンピックが終わるまでは睡眠不足の方が多くなると思いますが、上司の方は多少大目にみてあげてください。

(N.K)

[ページの先頭に戻る ▲](#)